

# Indonesia Bi-Weekly

2012年9月12日号 (対象期間: 2012年8月27日～2012年9月7日)

英国ブルーデンシャルグループ 



ジャカルタ総合指数\*は先々週(8月27日～31日)、欧州の景気指標悪化や中国の景気減速懸念などから世界的に株式市場が軟調となる中、下落しました。しかし、先週(9月3日～7日)は、欧州中央銀行(ECB)がスペイン等の国債の無制限買入れを決めたことや米国の追加金融緩和観測、中国の景気刺激策期待などから世界的に株価が上昇する中、反発しました。一方、インドネシア10年国債利回りは先々週は上昇しましたが、先週は低下し6%の水準を割込みました。\*出所: Indonesia Stock Exchange

## [株式市場]ジャカルタ総合指数の推移

## [債券市場]インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移

日付	終値	週間騰落率 (前週末比)
8月24日	4,145.40	-
8月31日	4,060.33	-2.1%
9月7日	4,143.68	2.1%

日付	利回り	変化幅 (前週末比)
8月24日	6.07%	-
8月31日	6.26%	0.19%
9月7日	5.99%	-0.28%



出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
上記のグラフは2010年12月30日からの推移を示しています。

出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
上記のグラフは2010年12月31日からの推移を示しています。

株式市場のセクター別の動きをみると、最も上昇したのは消費財セクターで、2週間で3.7%上昇しセクター指数の最高値を更新しました。インドネシアの堅調な内需の伸びに支えられて、消費財セクターは株式市場全体を上回る上昇を続けています。年初から9月7日までの上昇率は、消費財セクターが21.1%でジャカルタ総合指数の8.4%を大きく上回りました。個別銘柄をみても、消費財セクターで41.5%と最大のウェイトを占めるユニリーバ・インドネシア(一般消費財)が2週間で9.6%、年初来で48.9%上昇しています。

インドネシア10年国債の利回りは、先々週(8月27日～31日)は6.26%に上昇しました。先週(9月3日～7日)はインフレがインドネシア中央銀行の目標の範囲内に収まっていることなどから低下し、週末の7日には6%の水準を割込みました。9月3日に発表された8月の消費者物価指数(CPI)については、ニュース欄をご参照ください。

## [ニュース]

### ASEAN+6、自由貿易協定で2015年までの妥結を目指す

政治

東南アジア諸国連合(ASEAN)と日中韓などの16カ国は、自由貿易協定(FTA)についての交渉を来年から開始し、2015年までに妥結を目指す方針です。このFTAは「地域包括的経済連携(RCEP)」ないし「ASEAN+6」貿易協定と呼ばれており、関税障壁の撤廃だけでなく、知的財産権の保護や投資環境の整備など幅広い分野の協定が盛り込まれることになっています。インドネシアは、ASEAN10カ国の中で経済規模と人口の双方で最大の国です。ASEAN+6については、2ページ目の基礎講座をご参照ください。

### インドネシアのCPI上昇率、わずかに加速するも目標の範囲内

経済

9月3日に発表された8月の消費者物価指数(CPI)上昇率は前年同月比+4.58%で、7月の同+4.56%からわずかながら加速しました。ラマダン(断食月)とラマダン明けの休日で、野菜や香辛料などの食料品価格が上昇したことなどが主な原因です。しかし、CPI上昇率は2012年と2013年のインフレ目標である3.5%～5.5%の範囲内に収まっています。一方、インドネシア経済は堅調な内需の伸びに支えられて6%台の経済成長を持続しており、現在5.75%の政策金利(銀行間取引における目標誘導金利)は当面据置かれるという見方が優勢です。

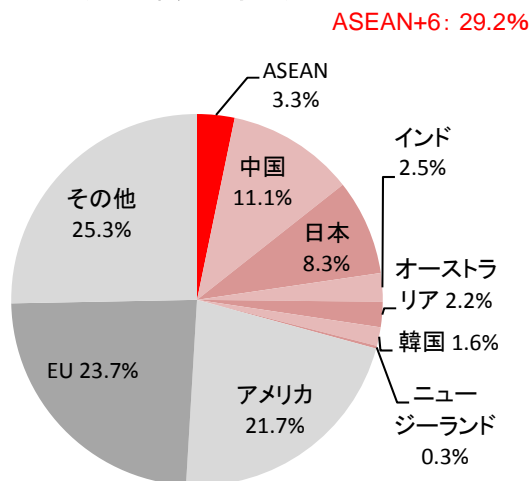
英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とはなんら関係がありません。

2012年9月12日号(対象期間:2012年8月27日~2012年9月7日)

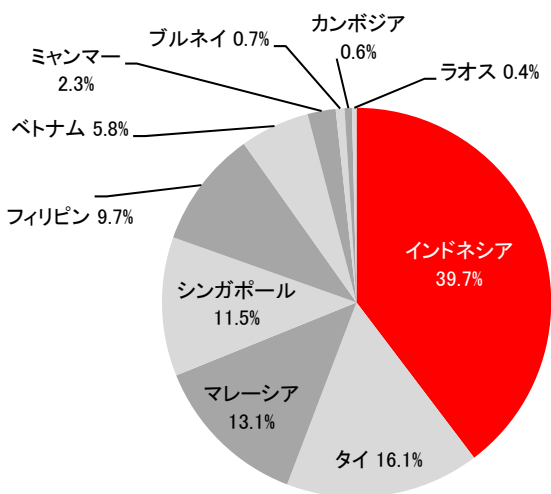
**[インドネシア基礎講座] ASEAN+6: 経済規模は、アメリカやEUを上回る**

ASEAN+6とは、東南アジア諸国連合(ASEAN)加盟10カ国に日本、中国、韓国、インド、オーストラリアおよびニュージーランドを加えた計16カ国による経済関係強化などの協力の枠組みのことで、ASEANは東南アジア諸国の地域協力機構で、加盟国はインドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジアの10カ国です。左下のグラフに示すように、世界のGDP(国内総生産)に占めるASEAN+6の割合は29.2%になり、アメリカの21.7%や欧州連合(EU)の23.7%を上回ります。右下のグラフはASEANの国別のGDP割合を示したのですが、インドネシアが4割近くを占める最大の国で、タイ、マレーシアがそれに次いでいます。

世界のGDPに占める国・地域別の割合 (2012年、IMF予想)



ASEANのGDPに占める国別の割合(2012年、IMF予想)



出所:上記の図表はいずれも、IMF 世界経済見通しデータベース(2012年4月)の予想データに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

四捨五入の関係上、合計値が100%にならないことがあります。また、四捨五入の関係上、ASEAN+6の数値と当該国の各データの合計値は異なります。

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社について**  
160年以上の歴史を有する英国の金融サービスグループの一員です。

- イーストスプリング・インベストメンツ株式会社は、1999年の設立以来、日本の投資家のみなさまに資産運用サービスを提供しています。
- イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社は、英国、米国、アジアをはじめとした世界各国で業務を展開しています。
- 最終親会社グループはいち早くアジアの成長性に着目し、アジアでは13の国や地域で生命保険および資産運用を中心に金融サービスを提供しています。最終親会社グループの運用資産総額は、2011年12月末現在、約3,510億ポンド(約42兆円、1ポンド=119.81円)に上ります。



**アジア株式の運用拠点であるイーストスプリング・インベストメンツ(シンガポール)リミテッドについて**

- アジア地域を幅広くカバーする資産運用会社で、インドネシアを含むアジア株式に関する専門知識と豊富な経験を最大限活用した運用を行います。
- 運用を担当するファンド・マネジャーやアナリスト・チームが徹底した企業のファンダメンタルズの調査・分析を行い、その結果をもとにポートフォリオの構築を行います。

**[当資料に関しご留意いただきたい事項]**

当資料は、インドネシアの証券市場と政治、経済、文化等にかかる情報提供のみを目的として、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社(「当社」)が株式会社T&C XTF Japanに情報提供を依頼し作成したもので、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。当資料は信頼できると判断された材料を使い、十分な注意を払って作成していますが、当社および株式会社T&C XTF Japanは、必ずしもその正確性、完全性をお約束するものではありません。また、掲載された企業につきましては、あくまで直近のトピックとしてご紹介させていただいたものであり、個別銘柄の売買の推奨を意図したのではなく、当社が運用を行う投資信託への組入れを示唆するものでもありません。